

名古屋第二赤十字病院で診療を受けられる患者さんへ

～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	入院期高齢心不全患者のヘルスリテラシーの現状と心血管イベント			
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2022 年 3 月			
研究実施診療科	医療技術部リハビリテーション科			
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	(西暦) 2021 年 4 月 5 日		
	院長が研究実施を許可した日	(西暦) 2021 年 4 月 6 日		
対象となる方	対象期間内に、名古屋第二赤十字病院循環器内科に入院し、心不全の病名でリハビリテーションを受けた方			
対象期間	(西暦) 2019 年 5 月 ～ (西暦) 2020 年 3 月			
研究責任者	所属	リハビリテーション科	氏名	永田英貴
研究の意義	健康増進や健康維持のために必要な情報にアクセスし、理解し、利用していくための個人の意欲や能力を規定する、認知および社会生活上の能力をヘルスリテラシーと言います。ヘルスリテラシーは心不全患者さんの退院後の疾病管理に重要な能力と言われていますが、心不全患者さんにおけるヘルスリテラシーの現状 (どのようなヘルスリテラシーをお持ちか、また年齢や性別による違いはあるか)、ヘルスリテラシーが退院後の再入院に影響するか否かについての報告はこれまでされていません。そこで今回、これらを調査することとしました。			
研究の目的	高齢心不全患者のヘルスリテラシーの現状および影響する因子と 1 年後の心血管イベントについて、調査すること。			
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、統計学的に検討します。			
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、匿名化した上で使用します。(年齢、体重、性別等の基本情報、血液検査、心臓超音波検査、身体機能、ヘルスリテラシー、退院後の再入院や死亡の情報等)			
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。			
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・			

	管理します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、本研究の目的以外には使用しません。
問い合わせ先	名古屋第二赤十字病院 リハビリテーション科 永田 英貴 電話 052-832-1121 (代表)